

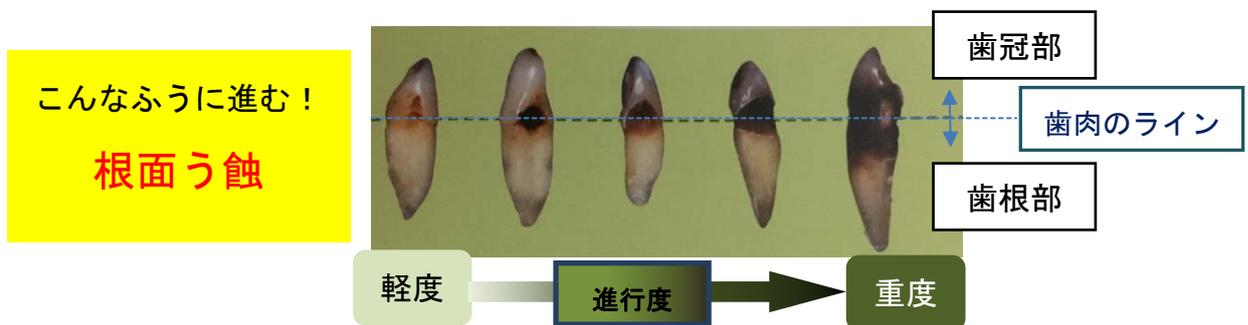


根面う蝕に要注意！

高齢化が進む日本において、8020達成者の方も多くみられるようになってきました。高齢になっても自分の歯が多くあるということはよいことなのですが、その歯をいかに長持ちさせるかということも重要です。

そのためには、根面う蝕に対するケアが重要です。患者さんのなかには「かぶせで治してもらったからもう大丈夫。痛くなったこともないし…」とっておられる方が少なからずおられます。そのような方こそ根面う蝕には要注意！

加齢や歯周病により歯肉が下がると歯の根がむき出しになってしまいます。この根の部分はエナメル質という硬い^{よろい}鎧に覆われていないため、脆弱^{ぜいじやく}な構造をしています。酸に弱く、力学的にも弱い部分であるため、一度う蝕に罹患してしまうと、適切なケアをしないかぎり“歯がポキッと折れてしまった。”という事態になってしまいます。根面う蝕は生活歯（神経が残っている歯）では歯がしみるという症状で歯科医院を受診され発見されることがありますが、神経を取ってある歯であれば痛みを感じることなく進行します。この結果、まるでビーバーが木をかじって切り倒すように歯の根元が侵食されることによって歯が折れて、あわてて歯科医院を受診するということがあります。



根面う蝕を予防するために、高齢になっても歯科医院での定期検診を欠かさず、ホームケアとして、高濃度フッ素配合（1450ppm）歯磨き剤の使用、さらにはフッ素洗口液での就寝前の洗口をお奨めします。歯科医院にて、根面へのフッ化ジアミン銀（サホライド）の塗布や充填処置を受けることにより、う蝕の進行の予防のみならず弱くなった根面の保護も期待できます。

人生80年どころか90年社会を迎えた今日、自分の歯を少しでも長持ちさせて、美味しいものを食べて健やかに暮らしていけるようにしましょう。

情報が満載



奈良県歯科医師会

検索



<http://www.nashikai.or.jp/>